



## 校長室の窓から

### 個々の児童の伸びが見えるとき！

一斉下校の時に、きちんと体操座りをして静かに待っている子の姿を見つけることができました。普段は冗談を言ったり、時には悪ふざけのようなことをしたりする子でしたが、「おっ、成長したなあ！」と感じる場面でした。また、先日は、5年生や3・4年生の複式学級での国語の授業を見た時、自分たちで学習を進め、自然と自分たちで話し合いをする姿を見ることができました。春には、担任が、教科書を指さし、「どこに書いてあるかさがしてみて。」と言っても、なかなか教科書を見なかった子が、「ここに、こう書いてあるじゃろう、じゃけえ、……」と、自分から隣の人に自分の考えを伝えている姿がありました。そして、何時間かの授業の最後に、自分で読み取ったことを表現する作品ができた時には、とても満足そうでした。これらの子ども達の姿には、「やらされる感」がないのです。「一斉下校で先生に注意されるから」とか「授業では、話し合いをしないといけないから」なんてことは、おそらく考えていないでしょう。「自分がきちんとすると気持ちがいい」とか、「自分で考えを出し合うことで、授業が楽しくなり、授業が分かる」ことに気付いたのではないのでしょうか。

12月には、「あいさつウィーク」があります。校長室の戸を大きく開けて「おはようございます。」と笑顔で大きな声であいさつをする子ども達の姿があります。これも、子ども達が私とのあいさつを通してするやりとりを「楽しい」と思ってくれるから、自然と大きな声であいさつをしてくれていると思っています。

このように、今、子ども達一人一人は成長をし続けています。

冬休みには、子ども達は、家庭・地域で過ごす時間が長くなります。子ども一人一人が成長するよう、「無理矢理」ではなく、「自然に」子どもが「楽しく動くことができるよう」粘り強く声をかけていただくとありがたいです。

最後になりましたが、今年一年間、本校教育にご支援ご協力を賜りありがとうございました。来年も、引き続きご支援をよろしくお願いいたします。

校長 田丸 栄